

単元名：現代社会の見方や考え方

～対立と合意，効率と公正の視点から～

単元について

○ 単元観

本単元は、中学校学習指導要領社会科「公民的分野」の目標「(4) 現代の社会的事象に対する関心を高め、様々な資料を適切に収集、選択して多面的・多角的に考察し、事実を正確にとらえ、公正に判断するとともに適切に表現する能力と態度を育てる。」に基づき、「公民的分野 2 内容 (1) 私たちと現代社会」中項目「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」を扱っている。

「(1) 私たちと現代社会」では「ア 私たちの生活と文化」で現代社会の特色や現代社会における文化の意義や影響を理解させた上で、「イ 現代社会の見方や考え方」で現代社会をとらえる見方や考え方の基礎について、具体的な社会生活と関連付けるなどして理解させ、以後の政治や経済、国際社会の学習の導入とすることを主なねらいとしている。

現学習指導要領では「イ 現代社会をとらえる見方や考え方」において、「人間は本来社会的存在であることに着目させ、社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について考えさせ、現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正などについて理解させる。その際、個人の尊厳と両性の本質的平等、契約の重要性やそれを守ることの意義及び個人の責任などに気付かせる。」とされている。また、内容の取扱いについて、「生徒が内容の基本的な意味を理解できるように配慮し、日常の社会生活と関連付けながら具体的事例を通して政治や経済などについての見方や考え方の基礎が養えるようにすること。その際、制度や仕組みの意義や働きについて理解を深めさせるようにすること。」といった事項に配慮するものとされている。

本単元を通して、「物事の決定の仕方」や「きまり」に関する社会的事例を示し、その意義を考えさせることを通して現代社会の見方や考え方の基礎を身に付けさせたいと考える。

○ 生徒観

○ 指導観

本単元は、中学校公民的分野の導入単元となるものである。

私たち人間は「社会的存在」であり、社会生活の中では様々な立場の人々が利益を得るような物事の決定の仕方、きまりが必要である。

現代社会で生きる私たちは、身近な問題を解決していく中で、社会生活における「対立」とそれが話し合いにより「合意」に至ることの重要性、さらにその合意が妥当なものであるかを、「効率」や「公正」という視点から判断することを通して、社会の枠組みをとらえ、社会に対する見方・考え方を高めていく。つまり、公民学習の基本となる「対立と合意」「効率と公正」といった視点から多面的に社会を見る力、考える力が必要である。

本生徒は、中学校卒業後に上級学校で新たな社会集団の一員として社会に一步踏み出すことになる。新しく所属する集団の中で、様々な人とコミュニケーションを図りながら時には対立し、時には共に協力して、将来、現代社会で生き抜くための社会性や判断力を身に付けていかなければならない。その点でも本単元は本生徒にとって有用であると考えられる。

よって、本単元では、「対立と合意」、「効率と公正」などの現代社会の見方や考え方の基礎を身に付けさせ、最終的に、「私たちにとってきまりとはなんだろうか」といった学習問題に対する自分の考えをまとめさせたい。

本学級では生徒が1名のため、グループでの話し合い活動を行うことは困難であるが、ICT教材を適切に活用し、「レジの並び方」「シングルライダー」など、生徒にとって身近な例を取り上げ、資料を読み取って自分で考えたことを表現させるように教材を工夫したいと考える。

単元の目標

(1) 社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について理解できる。

【社会的事象への知識・理解】

(2) 現代社会をとらえる見方や考え方の基礎として、対立と合意、効率と公正の視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。

【社会的な思考・判断】

単元の評価規準

社会的事象への関心・意欲・態度	社会的な思考・判断	資料活用の技能	社会的事象への知識・理解
社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に対する関心を高め、それらを意欲的に追究している。	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義について多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。	社会生活における物事の決定の仕方、きまりの意義と、現代社会を捉える見方や考え方の基礎としての対立と合意、効率と公正などについて理解し、その知識を身に付けている。

単元で育成したい資質・能力

	A	B
【主体性】	<ul style="list-style-type: none"> 様々な集団における物事の決定の仕方やきまりを守るものの意味に対する関心を高め、身の回りの生活と関連付けながら意欲的に意味を追究している。 	<ul style="list-style-type: none"> 様々な集団における物事の決定の仕方やきまりを守るものの意味に対して、関心を持って理解しようとしている。
【思考力】	<ul style="list-style-type: none"> きまりの意義を理解するために役立つ情報を適切に選択して、読み取ったりまとめることができる。 社会集団における問題の解決策を対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現できる。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりの意義を理解するために役立つ情報を読み取ることができる。 社会集団における問題の解決策を対立と合意、効率と公正などの視点から考えることができる。
【自己理解】	<ul style="list-style-type: none"> きまりの持つ意味や、社会では対立が生じた場合、何らかの決定を行い合意に至る努力がされていることを理解し、社会集団の一員としてきまりを守るためによりよく生きようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> きまりの持つ意味や、社会では対立が生じた場合、何らかの決定を行い合意に至る努力がされていることを理解し、社会集団の一員としての自覚を持つ。

指導と評価の計画

全5時間

時	学習内容	評 価					評価方法
		関	思	技	知	評価規準	
1	<p>課題の設定</p> <p>○人は社会の中でどんな関わりを持って生きているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 社会には様々な社会集団があり、私たちはその集団の一員として生活していることを知る。 私たちが集団で生活する場合には何が必要となるのか考える。 	○				<ul style="list-style-type: none"> 自分にとって身近な社会集団を挙げることができる。 社会生活には基本的な「きまり」があることがわかる。 	ワークシート 発言
<p>現代社会ではどのような考え方をし解決していくことが基本となっているのだろうか。</p>							
2	<p>情報の収集</p> <p>○「対立」をどのように「合意」して解決しているのか考える。</p> <ul style="list-style-type: none"> 「対立」が起こる身近な事例を取り上げる。 「対立」を解消するために、「合意」に至る努力が必要であることを理解する。 			○		<ul style="list-style-type: none"> 「対立」が起こる事例について理解できる。 「対立」が生じた場合、「合意」を目指すことが重要であるとわかる。 	ワークシート 発言

時	学習内容	評 価					
		関	思	技	知	評価規準	評価方法
3	<p>整理・分析</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「合意」を得るために、「効率」と「公正」の考え方が重要であることがわかる。 ・「効率」と「公正」の意味を理解する。 ・具体的な事例について「効率」と「公正」の考え方を踏まえて理解する。 <p><本時></p>				○	<ul style="list-style-type: none"> ・具体的な事例を読み取ることを通して、「効率」と「公正」とは何か理解できる。 	ワークシート 発言
4	<p>まとめ・創造・表現</p> <ul style="list-style-type: none"> ○キーワード（対立、合意、効率、公正）を使って学習してきたことをまとめる。 ○社会集団の最小単位である家族の中で、個人はどうあるべきか考える。 ・個人の尊厳と両性の本質的平等について理解する。 			○	○	<ul style="list-style-type: none"> ・「対立」から「合意」に至るまでの流れを、「効率」と「公正」という視点や考え方を基にして表現できている。 ・家族の中における個人の尊厳と両性の本質的平等についてわかる。 	ノート 発言
5	<p>振り返り</p> <ul style="list-style-type: none"> ○単元の振り返り ・人は社会の中でどんな関わりを持って生きているのかあらためて考える。 ・社会集団において「きまり」や「取り決め」をつくり守ることの意義がわかる。 ○これからの公民の学習では、様々な社会集団の関係や、社会集団に対して個人としてどう関わっていくのかということを知ることを知る。 	○				<ul style="list-style-type: none"> ・人間は「社会的存在」であることがわかる。 ・なぜ「きまり」がつけられるのか理解できる。 	ノート

本時の学習

(1) 本時の目標

- 社会生活における「効率」と「公正」について、具体的な事例を通して理解させる。

(2) 本時の評価規準

- 具体的な事例を読み取ることを通して、「効率」と「公正」とは何か理解できる。

【資料活用の技能】

(3) 本時の学習展開 (3時間目/全5時間)

<p>学習活動 ○主な発問 ・予想される生徒の反応 □思考の場の工夫</p>	<p>◇指導上の留意事項 ★めざす生徒の姿 ◆「努力を要する」状況と判断した 生徒への指導の手立て</p>	<p>評価規準〔観点〕 (評価方法) ◎本時で付けたい力</p>
<p>1 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのアトラクションをより楽しむために</p> <p>○ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにはどんなアトラクションがあるだろうか？ ○お目当てのアトラクションにたくさん乗ろうと思ったときに起こる問題点は何だろうか。 ・待ち時間が長い。</p> <p>めあて _____</p>	<p>◇修学旅行の経験をもとに、ユニバーサル・スタジオ・ジャパンのアトラクションをいくつか挙げさせる。</p> <p>◇写真を紹介する。</p> <p>◇本時では、人気のあるアトラクションの待ち時間を短縮するためにされている工夫の1つを取り上げて学習を進めることを伝える。</p>	
<p>「効率」と「公正」を考えて、アトラクションに乗ろう。</p>		
<p>2 シングルライダーとは何か。 映像や図からわかったことをまとめる。 ○シングルライダーの良い点、悪い点は何だろうか。</p> <p><u>良い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・早く乗ることができる。 ・待ち時間を短縮できるので多くのアトラクションを体験できる。 ・無料である。 <p><u>悪い点</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・知らない人と相席になる。 ・グループがバラバラになる。 ・アトラクションが限られている。 ・絶対に早く乗れるという保証はない。 	<p>◇映像や図などを提示して、シングルライダーを具体的に説明する。</p> <p>◆ヒントの文章を提示して、意見を出しやすくする。</p>	<p>◎具体的な事例を読み取ることを通して、「効率」と「公正」とは何か理解できる。</p> <p>【資料活用の技能】 (ワークシート)</p>
<p>□思考の場の工夫 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンにとって良い点とは何だろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お客様を待たせずにすむ。 ・ほぼ満席になるので無駄がない。 ・席の回転率を上げてより多くの人に乘ってもらえる。 	<p>◇シングルライダーが、アトラクションを体験するお客側だけでなく、運営側にとっても効率の良いシステムであることを確認する。</p> <p>◇シングルライダーは良い点・悪い点を踏まえて「効率」を優先したシステムであり、条件を「公正」に示して、不便さも納得した上で利用する側が選択するものであることを理解させる。</p>	
<p>3 「効率」と「公正」の考え方から、シングルライダーを理解する。</p> <p>4 本時のふりかえり シングルライダーを利用するかどうか、理由をつけて意見を言う。</p>		
<p>★めざす生徒の姿 シングルライダーは無駄を省くという点で大変良いやり方だと思う。「効率」と「公正」という視点から判断しているいろいろ考えていくと良いことを知ったので、実際の社会生活の中でもいかせるように心がけていきたい。</p>		

(4) 板書計画

めあて 「効率」と「公正」を考えて、アトラクションに乗ろう。

課題：待ち時間が長い

アトラクションの写真

シングルライダー

知らない人と相席になってもかまわなければ、普通に並ぶよりも早くアトラクションを楽しむことができる。

対立 → 合意

判断基準

効率 公正

〈良い点〉

- ・
- ・
- ・
- ・
- ・
- ・

〈悪い点〉

- ・
- ・

まとめ 「効率」と「公正」から、みんなが納得できる解決策を考えていくことができる。

効率

時間やお金、もの、労力など、全体の無駄を省くこと

公正

話し合いの進め方（手続き）や機会や結果で不利な扱いを受ける人がいないようにすること